

第50回 中国中学校卓球選手権大会要項

- 1 目 的 本大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広く卓球実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。
- 2 主 催 中国中学校体育連盟 岡山県教育委員会 笠岡市教育委員会 中国卓球連盟
- 3 主 管 岡山県中学校体育連盟 備西支部中学校体育連盟 岡山県卓球協会
- 4 後 援 岡山県中学校長会 (公財)岡山県スポーツ協会 山陽新聞社
- 5 会 期 令和7年8月6日(水)～8日(金)
- 6 日 程 8月6日(水) 公式練習 13:30～
8月7日(木) 競技開始 9:00～ 団体戦
8月8日(金) 競技開始 9:00～ 個人戦
※開会式、閉会式及び表彰式は行わない。
- 7 会 場 笠岡総合体育館 (〒714-0054 岡山県笠岡市平成町 63-2)
- 8 参加資格 (1) 参加者は、各県中学校体育連盟加盟の学校に在籍し、学校教育法第1条にもとづく当該中学校生徒であること。
(2) 中国中学校選手権大会拠点校部活動参加規程に基づき、拠点校で活動している生徒は参加することができる
(3) 年齢は、平成22年4月2日以降に生まれた者に限る。
(4) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、その年度の6月30日までに、各県中学校体育連盟を通して、(公財)日本中学校体育連盟に申し出ること。
(5) 参加資格の特例
◎学校教育法第134条の各種学校在籍生徒
①学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
②参加資格を得た各種学校は別に定める条件を具備すること。詳細は「令和7年度 中国中学校体育連盟 役員理事名簿 規約・諸規程」を参照のこと。
◎地域クラブ活動に所属する中学生
①地域クラブ活動に所属し、都道府県中学校体育連盟またはブロック中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
②参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
1) 中国中学校選手権大会の参加を認める条件
ア 中国中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
イ 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している(中学校等に在籍している生徒であること)。
ウ 地域クラブ活動にあつては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
エ 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』(令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁発出)の「Ⅱ新たな地域クラブ活動」を遵守していること。
オ 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは都道府県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で都道府県中学校体育連盟に登録していること(登録費については、各県中学校体育連盟の判断に委ねる)。
カ 各県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など

運営上必要な事項に協力すること。

- キ 地域クラブ活動で中国中学校選手権大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

2) 中国中学校選手権大会に参加した場合に守るべき条件

- ア 中国中学校選手権大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ 中国中学校選手権大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・もしくは指導資格を有する指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に参加するなどして、万全な事故対策を立てておくこと。
- ウ 中国中学校選手権大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
- エ 団体競技における地域クラブ活動名の出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。

3) 参加を認めない場合

- ア 中国中学校選手権大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。
- イ 在籍生徒が県をまたぐことを原則認めない。
 - ※ ただし、以下のすべてを満たす場合に限り特別に認める。
 - ・生徒が在籍する学校に該当する部活動がない場合。
 - ・中国ブロック内の隣接する県である場合。
 - ・県内に『該当する地域クラブ活動がない』または、『地理的条件などにより、日常的に練習参加することが実質不可能である』場合。

4) 卓球競技部細則

『令和7年度全国中学校体育大会地域クラブ活動の参加資格の特例競技部細則（卓球）』（令和6年10月11日 日本中体連発出）に準ずる。

- (6) 各県中学校体育連盟主催の競技大会において、中国大会参加資格を得た学校・チームまたは個人とする。
- (7) 団体戦の1チームの編成は、同一チームの選手6名～8名・監督1名・アドバイザー1名とする。また、個人戦は男女ともシングルスのみとする。
- (8) 夏季大会に限り、同一年度内の参加は全種目を通じて一人一回とする。
- (9) 個人戦は、(6)の項の個人戦の部より選抜されたものとする。
- (10) 参加生徒の引率・監督は、出場校（チーム）の校長・教員・部活動指導員※1、地域クラブ活動の代表（指導）者とする。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。
 - (※1→ここでいう部活動指導員は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者)
- (11) 中国中学校選手権大会の参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合、「中国中学校選手権大会引率細則」により、校長が適切であると承認した外部指導者に引率及び監督の資格を認める。その際には、所定の書類を実行委員会に提出すること。
- (12) 団体戦のアドバイザーは、出場校の教職員・部活動指導員もしくは校長の承認を得た外部指導者とし、他校のアドバイザーを兼務することは認められない。個人戦のアドバイザーは、選手1名につき1名のベンチ入りを認める。ただし、アドバイザーは、監督（校長・教員または部活動指導員）・アドバイザー（外部指導者）のいずれかとする。選手はアドバイザーとして入れない。また複数校・チームの兼務を個人戦のみ認める。試合中のアドバイザーの交代は認めない（地域クラブ活動には該当しない）。また、他校の校長・教職員・部活動指導員にはその資格がない。
- (13) 本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該

当していない者であることとしている。校長（代表者）はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお外部指導者は校長から暴力等に対する指導処置を受けていないこととする。

(14) 個人情報の取り扱い（利用目的）

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、中国中学校体育連盟個人情報保護方針・規程に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表（記録集）等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。

9 大会負担金

- (1) 登録選手一人につき、2,000円とする。
- (2) 納入方法は各県中体連事務局の指示による。
- (3) 参加申込締切以降の参加取り消しや不出場の場合、負担金の返金は行わない。

10 参加制限

- (1) 団体戦
各県代表とし、男女各2チームとする。ただし、開催県（岡山県）は男女各4チームとする。
- (2) 個人戦
各県男女各8名とする。ただし、開催県（岡山県）は男女各16名とする。監督1名とともに登録する。アドバイザーがある場合は、アドバイザーも登録する。（選手はアドバイザーとして入れない。）

11 競技規則

現行の（公財）日本卓球協会競技ルール、および本大会規則による。

12 試合方法

- (1) 団体戦
 - ① 4単1複で、3番にダブルスを入れる。シングルスとダブルスを同一選手が兼ねることはできない。2～3台進行とする。
 - ② 予選リーグは4ブロックで行い、3チームリーグ戦とする。5点すべてを有効とする。また相互審判とする。
 - ③ 決勝トーナメントは、予選リーグ各組1・2位のチームの計8チームで行う。3点先取法とする。
 - ④ 第3代表決定戦敗退チームと決勝トーナメント1回戦敗退チームで、第4代表決定戦を行う。3点先取法とする。
- (2) 個人戦
 - ① 予選リーグは、16ブロックで行い、3名リーグ戦とする。
 - ② 決勝トーナメントは、予選リーグ各組1位の16名で行う。

13 表彰

- (1) 団体1～3位までのチームおよび登録選手に、中国中学校体育連盟より賞状を授与する。
- (2) 個人1～3位までの選手に、中国中学校体育連盟より賞状を授与する。
- (3) 団体1位には優勝旗を、個人1位には優勝杯を授与する。（持ち回り）
昨年度優勝チームに対しては、優勝旗返還時にレプリカを贈呈する。

14 参加申込

代表になった各校・チームは次の要領で参加申し込みをすること。

(1) 申し込みデータ

開催県のHPより申し込み用紙のデータをダウンロードし、必要事項を記入し各県の専門委員長へ①データ形式、②PDF（校長印または地域クラブ活動は代表者印必要）の二通りで送付する。

(2) 外部指導者確認書（申請校・地域クラブ活動は該当しない）

外部指導者がアドバイザーに入る場合は、(1)と同様に開催県のHPより代表になった学校の監督がダウンロードし、①データ形式、②PDF（校長印を押したもの）を各県の専門委員長に二通りで送付する。

- (3) (1) (2) の原本は、団体戦参加チームの監督が初日の受付で、個人戦参加チームの監督は参加当日の受付の際に提出すること。
- (4) 選手・監督・アドバイザーの変更がある場合は、受付で配布される所定の「選手・監督・アドバイザー変更用紙」に記入の上、団体戦は監督会議時、個人戦は最初の試合を行う 30 分前までに審判長に提出すること。なお外部指導者の場合は、職印が押された「外部指導者確認書」も提出すること。各県専門委員長は、次の要領で取りまとめた参加申し込みを送付すること。
- (5) 各県専門委員長は、送られた (1) (2) のデータをまとめて申し込み締め切りまでに送付する。
- (6) 各県専門委員長は、参加申込一覧表を作成し、メールで E-mail 送信先へ送付する。
- (7) 参加申し込み期限 令和 7 年 7 月 25 日(金)
E-mail 送信先 penomote322@yahoo.co.jp
(岡山市立西大寺中学校 菅野 順司)

大会責任者 〒719-1125 総社市井手 565
総社市立総社東中学校
岡山県中体連卓球専門部理事長 藤原 大輔

- 15 組合せ (1) 団体戦 令和 7 年 8 月 6 日(水)監督会議において抽選し、決定する。
(2) 個人戦 令和 7 年 7 月 31 日(木) 10:00～
会場 西大寺中学校 コンピュータ室
開催県実行委員会で抽選し、8 月 1 日(金)にホームページに掲載する。
※ただし、その抽選会には開催県中体連役員が立ち会うものとする。

- 16 会議 (1) 専門委員長会議
日時 令和 7 年 8 月 6 日(水) 13:30～
会場 笠岡総合体育館 会議室
(2) 監督会議
日時 令和 7 年 8 月 6 日(水) 15:30～
会場 笠岡総合体育館 会議室
※ 個人戦参加者のみの監督は、監督会議に出る必要はありません。

- 17 宿泊 大会出場者（登録選手および引率者）は、必ず大会実行委員会を通じて宿泊申込みを行うこと。大会中の連絡等については宿舎を通じて行い、宿泊をしないところについては学校・チームに連絡する。詳細は、別紙宿泊要項参照のこと。

- 18 その他 (1) 競技中の疾病・傷害については、応急処置をする。
(2) 選手はユニフォームを着用し、右図の要領で作成したゼッケンを背部に必ずつけること。（日本卓球協会のゼッケンも可）
(3) 団体戦ではユニフォームはチームごとにそろえ、2 着準備することが望ましい。
(4) 団体戦には、監督 1 名、アドバイザー 1 名と選手 8 名までが、ベンチに入ることができる。個人戦にも、監督またはアドバイザーのいずれか 1 名がベンチに入ることができるが、試合中の交代は認められない。
(5) 試合球は、Nittaku・VICTAS・BUTTERFLY の 40mm ホワイトボールを使用する。
(6) 本大会上位から団体男女各 4 チーム、個人男女各 10 名が、全国大会への出場権を得るものとする。
(7) 前年度優勝チーム(団体・個人)は、優勝旗・優勝杯を持参すること。
(8) 大会中の練習時間は、以下の通りとする。
8 月 6 日(水) 13:30～16:00 メインアリーナ、サブアリーナ
8 月 7 日(木) 8:00～8:40 メインアリーナ、サブアリーナ

名前
県名 学校(チーム) 名

8 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0 サブアリーナ
8月8日(金) 8 : 0 0 ~ 8 : 4 0 メインアリーナ
8 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0 サブアリーナ

- (9) 中国大会の競技開催期間は2日間以内となっているが、天候等の関係で競技方法の変更もあり得る。
- (10) 万が一、大会が会期内に全く開催できない場合は、別日程は設けず中止とする。その場合、全国大会出場チーム(者)は団体・個人とも各県の1、2位チーム(者)による抽選により決定する。抽選者は①監督②各県専門委員長とする。(詳細は「令和7年度 中国中学校体育連盟 役員理事名簿 規約・諸規程」による)
- (11) 万が一、大会が中止となった場合は、大会負担金は返金する。ただし、全額返金できない場合がある。(詳細は「令和7年度 中国中学校体育連盟 役員理事名簿 規約・諸規程」による)
- (12) 本大会は別添「令和7年度 中国中学校体育連盟 中国中学校選手権大会実施上のインフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応について」に従って開催する。
- (13) プログラムは、団体戦出場チームには3部、個人戦出場者には1部配付する。
- (14) 大会に関する問い合わせについては、各学校・チームの責任者が各県専門委員長を通して行うこと。